北海道･東北史研究会 留萌研究会のお知らせ

小平町には日本海側でも最大級の擦文時代(今から約８００年～約１，３００年前)の巨大集落跡、高砂遺跡があります。発掘された土器などは、埋蔵文化財資料館オピラウシに展示されていますが、実はこの遺跡、注目を集めつつあります。

研究会では、小平町高砂遺跡の発掘成果をもちいて古代の人々の交流と交易について多くの成果をあげてきた旭川市博物館の瀬川拓郎氏、日本海のランドマーク(目印)となり外国人漂流民が上陸した利尻島の歴史について利尻町立博物館の西谷栄治氏が報告を行います。これらの報告を通じて、留萌地域は古く古代から、道内はもとより東北地方やサハリンの人々との交流と交易の場であったことを明らかにし、高砂遺跡の人々がなぜ小平町に住んだのか、その謎にも迫ります。

また、永年管内の文化財保護や郷土史研究に尽力なされた運上光彦氏(小平町)が、管内の文化財について講演します。留萌管内の歴史･文化財に関心がある方はご参加ください。なお、小平町民は無料ですので是非ご来場ください。

日　時　８月８日（土）
場　所　留萌市中央公民館研修室１
主　催　北海道・東北史研究会　　留萌市教育委員会
後　援　小平町教育委員会　増毛町教育委員会
内　容　特別講演　運上光彦氏「留萌地方の文化財と私の歩み（仮）」
第１報告(考古学)瀬川拓郎氏（旭川市立博物館学芸員）
「拡大する日本海世界－古代アイヌ社会における交易適応の視点から-」
コメント　中村和之氏(函館高等専門学校教授)
第２報告（近世）西谷栄治氏(利尻町立博物館学芸課長)
「利尻島からみた日本海世界－外国人漂流民の記録から-(仮)」
コメント　松本あづさ氏(藤女子大講師)
資料代　小平町・留萌市・増毛町の住民の方は無料（左記以外の方は資料代1,000円。）
申込み　参加者数把握のため、交流センター(長澤)までご連絡ください。

おびらっ子クラブ「山里の生きもの調査」

自然豊かな達布の小川には、どんな生きものがいるのかな？

と　き　７月１８日（土）
対　象　町内小学生（定員２０名）
ところ　達布・三線沢川
参加料　300円
内　容　三線沢川に生息する生きものを探します
申込み　７月１５日(水)まで　※詳細は、小学校を通じて周知いたします。
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
担　当　文化交流センター（長澤）

今月の「小平町郷土資料通信」はお休みします。

今月の古文書教室 7月14日(火)に 実施します。

ほっかいどう「早寝早起き朝ごはん」運動

北海道教育委員会では、子どもの生活リズム向上のため「早寝早起き朝ごはん」運動を進めています。

は　つらつとした毎日を送るために朝ごはんを食べましょう。
や　さしい心を育てるために早寝早起きで睡眠を十分とりましょう。
お　おいに体を動かして体力をつけるために外遊びやスポーツをしましょう。
き　らきら輝く子どもたちの笑顔のために道民ぐるみで支え、見守りましょう。

http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/hayane.htm